

【観劇会のご案内】

長年親しまれてきました八幡市民会館が、老朽化により今年3月末で閉館となることを受け、支援者の方々から最後に是非、同会館で催しが出来ないかのご提案をいただきました。そこで、かねてよりご縁がありました「玄海竜二」氏にご相談したところ、八幡市民会館さよなら公演を快くお引き受けいただきました。

玄海竜二さんは大衆演劇の第一人者で九州座長会の座長もされている著名な方です。大変貴重な公演になると、今から楽しみでなりません。皆さまもお誘いあわせの上、お芝居を堪能していただければと思います。また、八幡市民会館も思い出として心に刻んでいただきたくご案内申し上げます。

【チケット取扱い】

八幡市民会館及び白石事務所に好評販売中!!

八幡市民会館 TEL/093-671-6061
白石事務所 TEL/093-681-6128

恒例の山口りんご狩り、今年もバーベキューで更に盛り上がる!!

毎年11月に開催しています山口県徳佐「マルホりんご園」での、りんご狩りですが、今年は昼食にりんご園でバーベキューもご用意しました。参加人数に限りがありますので、ご希望されます方はお早めに白石事務所までお申し込みをお願いいたします。

【日 時】平成27年11月15日(日)
【出発時間】八幡各地、7時半~8時
【帰着予定時間】18時頃
【会 費】大人5,000円 小学生3,000円
※未就学児については要相談とさせていただきます
【お申し込み締め切り日】
10月30日(金)

プロフィール	生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ
	学 歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業
	職 歴	福岡県済生会八幡総合病院(診療放射線技師) 平成21年:北九州市議会議員 初当選
	所 属	総務財政委員会、会派政務調査会長

白石かずひろ事務所・市政相談所
〒805-0050 北九州市八幡東区春の町5-7-5
グローイングビル3F(福岡県済生会八幡総合病院前)
TEL/093-681-6128 FAX/093-681-6138 E-mail/k-sris@hop.ocn.ne.jp

◎この市政レポートは、市議会各派に交付される政務活動費を用いて作成しています。◎重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。(政治面)



ハートフル通信

2015年 秋号

No. 25

北九州市議会議員 [八幡東区]

白石かずひろ

【発行日】2015年10月発行 【発行人・編集人】白石一裕

地域防災・防犯に生活安全パトロールが活躍!!

~青パトの活動支援強化を強く要請~



酷暑ともいえる夏が嘘のように、めっきり朝晩涼しくなってきましたが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。8月25日には台風15号が早朝から夕刻にかけて本市を直撃し、各所に被害をもたらしました。東区内も倒木や屋根瓦被害、また河内貯水池河畔(写真参照)や田代川左岸では大規模な土砂崩れが発生し、地域住民の方々が利用する仮設道路以外は一般車両の通行は出来なくなっています。一日も早い復旧が待たれます。

さて、9月3日より10月6日まで9月議会定例会(26年決算議会)を開会。市長から48議案が提案され、このうち一般会計には約25億8000万円の補正予算などが上程され、いずれも可決承認されました。補正予算の特徴は、来年5月に開催される伊勢志摩サミットに合わせ本市で開催されるエネルギー大臣会合の開催準備費2500万円や、世界遺産に登録された官営八幡製鐵所関連施設への見学者向けのおもてなし強化費7500万円、また昨年11月に亡くなった俳優高倉健さんの一周忌追悼イベント開催経費1000万円や、地域エネルギー会社への出資金などが盛り込まれた点です。

また、本会議での質疑では、市の方針として未就学児の通院医療費助成を来年10月より小学6年生にまで拡充する方針を明らかにしました。このほか、小中学校でエアコン整備が進む中、夏休み期間の短縮が検討されています。現在、北九州空港の活性化対策として福岡都心部とリムジンバスで直接結ぶ便の運行が開始され、来春全線開通する東九州自動車道の効果により一層の利用促進が期待されます。また安心安全対策も暴力団幹部の逮捕など大幅な成果を挙げ、以前の北九州のダークなイメージが払拭されようとしています。このように、市政の様々な分野で将来につながる明るい兆しが出始めています。このチャンスを活かし、安全安心で活力のあるまちづくりにつなげていくことが必要です。最後に、9月19日未明に参議院本会議にて安保関連法案が可決されました。国民の多くが法案の理解が進んでいないとして慎重審議との声をあげました。普段、デモなどには縁遠い学生や主婦までもが反対の声をあげ、元最高裁長官や憲法学者などが明白な憲法違反としました。国の安全保障は重要な課題です。安全保障のあり方はもっと議論を深めたいと、国民の合意を得なければならないと考えます。9月議会でも法案撤回の意見書を出しましたが、反対多数で否決されてしまいました。集団的自衛権の行使容認は海外派兵へとつながり、戦後70年保たれてきた平和を脅かすものだと考えます。このことを多くの国民が引き続き考え続けることが大切です。



市長
質疑

平成27年6月北九州市議会定例会におきまして、会派「ハートフル北九州」を代表して市長
質疑を行いました。紙面の都合上、前号で割愛した質疑答弁をご報告させていただきます。



「日本トップクラスの安全なまち」を目指して
地域防犯活動を前向きに支援することを約束!!

生活安全パトロール隊の支援について

【白石質疑要旨】

地域の安全・安心を守る活動は、防犯活動や子供たちの通学の見守り、更には高齢者支援など多岐にわたっています。このうち、地域防犯や子供の見守り、非行防止などについては、地域が自主的に「生活安全パトロール隊」を結成して活動しており、犯罪の減少など大きな成果を上げています。なかでも、「青パト」による防犯パトロールは、地域防犯にとって欠かせないものとなっています。こうした現状を踏まえ更なる支援対策を講じる必要があると考えます。そこで2点伺います。



- (1) 「青パト」の活動内容を市としてどう評価しているか。
- (2) 今後も「青パト」による活動が維持出来るよう団体を支援する仕組みを検討出来ないか。

【市長答弁】

白石委員から青パトに対する支援についてご質問がありました。本市では、全ての小学校区で「生活安全パトロール隊」が結成されています。その活動の一つとして、平成17年から青色回転灯装備車によるパトロール、いわゆる「青パト」が実施されています。現在、全パトロール隊の1/3にあたる64団体で144台の車両が稼働しています。青パト活動については防犯活動を広く住民にアピールできること、活動範囲が広がり、広範囲なパトロールが実施出来ることなど、より効果的・効率的な活動が可能で、地域によっては、重要なパトロール手段の一つとして定着していると認識しています。



更に、実施にあたっては、個人所有の車両を、青パトとして地域防犯のために活用いただくとともに、定期的な古紙回収や寄付活動など、地域の努力によって維持経費を賄い、運行されるなど、「地域の安全は地域で守る」という強い思いや熱意には心から敬意を表します。「日本トップクラスの安全なまち」を本市は目指していますが、このような地域の防犯活動は誠に重要な財産です。地域の特性に応じて、創意工夫を凝らしながら、自主的・主体的に取り組むことが、住民の連帯感を高め、ひいては自治会や町内会活動の活性化にも繋がると考えています。引き続き、市や警察が連携して地域の防犯活動を支援していく必要があります。青パト活動への支援については、これまで、各区に配置した安全・安心指導員による申請手続き支援のほか、青色回転灯や防犯パトロール車であることを記載したマグネットシートの提供を平成17年から行っています。また、一定の基準を満たす青パト車両について、平成22年からは、所有者からの申請に基づく軽自動車税の免除を行っています。さらに、昨年1月からは、福岡県警の働きかけにより、市内の一部のガソリンスタンドで、ガソリン代や車検の費用が割引される支援制度が開始されたところです。現在、地域からは、「パトロールの実施者や車両が変わるたびに申請手続きが必要で、登録手続きが煩雑であること」や、「実施者が辞めた場合に、後継者の確保が難しい」といった、ご苦労されている話も伺っています。青パト活動は、地域防犯活動の一つとして重要であり、今後とも、地域からの要望等をしっかり受け止め、他の都市の事例も参考にしつつ、どのような支援が出来るのか、警察や関係団体と連携して検討して参ります。

総務・財政委員会 視察報告

この2年間、保健病院委員会に所属しておりましたが、今春より総務財政委員会へと所属が変りました。これまでの委員会とは幾分内容が異なりますので多少の戸惑いがありましたが、今では本市財政の厳しさを様々な角度から理解出来つつあります。そうした中、7月に委員会視察を行いましたので報告させていただきます。視察は、①移住定住促進策②市民防災施策③定住促進プロジェクトをテーマとしました。視察先は北広島市、札幌市、千歳市で、人口減少が進む中ファーストマイホーム支援制度や、おためし移住制度などを創設し多くの世帯の移住に成功したこと、また若手職員がアイデアを出していること、防災意識の向上には防災グッズを揃えたり避難訓練を実施しても実際の行動にはつながらないことなどを教えていただきました。先日の台風では、避難勧告が出て実際に避難された方はごく僅かだったことからわかるように、なかなか自身の事として受け止められない方が多いのも事実です。一人ひとりが防災意識を高めることが重要です。



八幡大空襲から70年 北九州市民の集い

7月29日八幡市民会館に於いて「八幡大空襲から70年」が開催されました。当時の八幡市は我が国が戦争を遂行する上で重要な生産拠点であったため、敵機の攻撃対象となりました。昭和20年8月8日、八幡の街を焼きつくす大規模な空襲に見舞われ、甚大な被害が発生しました。市民会館近隣の小伊藤山公園の辺りにあった防空壕では300人余りの方々が焼死され、この空襲による死傷者は2500人との記録があります。当日は、八幡中央高校書道部の皆さんの書道パフォーマンスや、戦火を体験された語り部の皆さんのお話を伺う機会がありました。書道パフォーマンスは巨大な紙の上に音楽に合わせたダンスを取り入れたもので大変感動致しました。また、戦時中の恐ろしくて悲しい体験談を貴重な生のお声でお聞きしました。改めて平和の大切さを再認識させていただくと同時に未来への責任を痛感いたしました。多くの市民の方々にお越しいただいたことに感謝申し上げます。当日は北橋市長と共に八幡東区議員懇話会会長としてご挨拶申し上げます。



夢二まつりが今年も盛大に開催!!

八幡東区枝光地区で、名物の「夢二まつり」が今年も盛大に行われました。画家竹久夢二を偲んで始まったまつりも今年で38回目を数えます。夢二は一時、官営八幡製鐵所に勤務し図面製作などを担当したとされ、夢二が失恋の経験を元に作った詩「宵待草」の一節を記した碑が諏訪1丁目公園に完成した78年から今日まで「夢二まつり」は地元の方々の努力で続けられています。また、今年7月には官営八幡製鐵所の関連施設が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録されました。実行委員の水摩直子さんは「世界遺産と共に夢二が八幡にいたことも多くの人に知ってもらいたい」と語ってくれました。



ポテのひてりごと

こんにちはポテトです！最近、秋の気配を感じるどころか、台風や豪雨で天気予報から目がはなせませんね。TVのニュースで大きな被害の状況を見ると、人も大変だけど犬や猫は・・・とポテトは心配です。ところで父さんはいいですよ、9月に入り、食欲の秋を目の前にしてダイエットを決意いたしました。実は2月に一度同じダイエットをして6kg減と成果を上げたので、今回もう一度頑張ってみることに!!このダイエット、短期間で成果も上がりますが、食事制限がかなりきついで意志が強くないと無理なようです。でも父さん、意志の強さには自信があると二度目のダイエットを試みました。4日目昼まで順調にいていましたが、もう食べ物のことしか考えられなくなって、とうとう夕食時、断念(涙)外食して家に帰ると、「フラ～、フラ～」と自分で言いながら座り込んでしまいました。急にご飯を食べて体がビックリしたようです(苦笑)母さんは「大げさなっ!!」と大爆笑です。父さん、もうそんなに若くないのだからダイエットは無理なく頑張るってね!!

